

# 19 メキシコ

# United Mexican States

<2007年>

人口 1億653万人

財政会計年度 1月～12月

為替制度 変動相場制

通貨 ペソ

1米ドル = 10.9ペソ

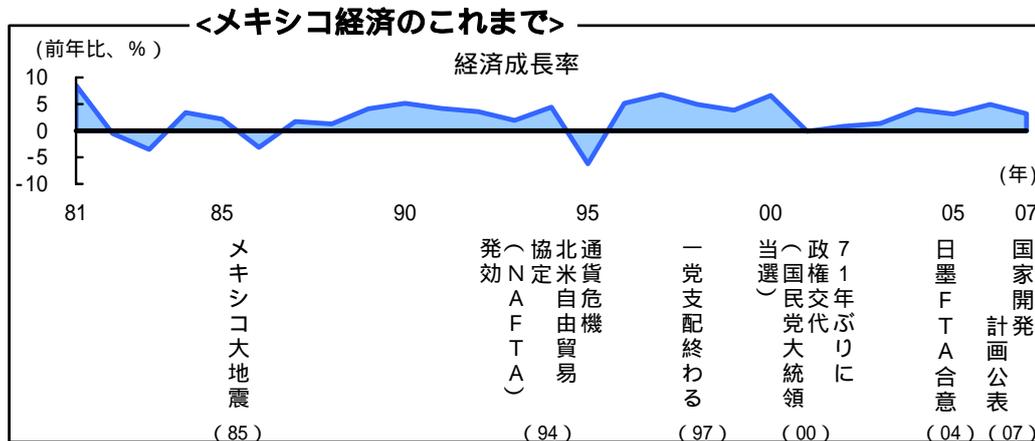
一人当たりGDP 8,503ドル

産業構造(GDP構成比) 1次産業 4.0%

2次産業 26.0%

3次産業 70.0%

面積 196.4万km<sup>2</sup> (日本の約5倍)



メキシコの主要経済指標

		97～06年	2007年	2008年見通し			2009年見通し			民間機関見通し
				政府	OECD	IMF	政府	OECD	IMF	
実質GDP	前年比%	3.6	3.2	2.4	1.9	2.1	3.0	0.4	1.8	実質GDP
鉱工業生産	同上	3.4	1.9	-	-	-	-	-	-	2008年
消費者物価	同上	9.1	4.0	5.5	4.9	4.9	3.8	5.3	4.2	平均 1.7
失業率	%	3.2	3.7	-	-	-	-	-	-	最大 2.3
経常収支	億米ドル		58	-	-	-	-	-	-	最小 1.3
(GDP比)	%		(0.1)	(0.6)	(1.3)	(1.4)	(1.1)	(3.1)	(2.2)	2009年
財政収支	億米ドル		4.4	-	-	-	-	-	-	平均 0.3
(GDP比, 年度)	%		(0.0)	-	-	-	-	-	-	最大 2.3
政府債務残高	億米ドル		2,161	-	-	-	-	-	-	最小 0.5
(GDP比, 年度末)	%		(21.1)	-	-	-	-	-	-	(21社)

- (備考) 1. メキシコ銀行、メキシコ地理情報統計院、IMF "International Financial Statistics"による。  
見通しの政府はメキシコ財務省、OECDは "Economic Outlook" (2008年11月)、IMFは "World Economic Outlook" (2008年10月)による。  
2. 財政収支は、一般政府。  
3. 政府見通しの消費者物価は、12月の前年同月比。

## <2008～2009年の経済>

08年のメキシコ経済については、それまで景気を支えてきた個人消費の伸びの低下に加え、メキシコの輸出の8割を占めるアメリカ経済の減速、原油生産の低迷による輸出の伸び低下等の影響を受けて、更に減速傾向が強まり、経済成長率は前年同期比でみて1～3月期は2.6%、4～6月期は2.7%を記録した後、7～9月期は1.6%となっている。08年全体では、2%台前半程度の成長となることが見込まれる。消費者物価については、それまでおおむね4%前後の上昇で推移してきたものの、世界的な食糧・エネルギー価格上昇を受けて、年半ばより対前年同期比で5%台に上昇している。メキシコ銀行は6～8月にかけて3回にわたる利上げを行うなどの引締め政策を採ってきたが、景気減速を受けて9月以降は金利を据え置いている。

09年については、経済面で結び付きの強いアメリカの減速の影響が更に強まり、成長率は鈍化すると見込まれる(政府見通し3.0%、IMF見通し1.8%、民間機関21社の平均0.3%)。消費者物価上昇率については、高騰の原因であった食糧・エネルギー価格の下落や景気減速が見込まれることから、上昇は若干緩和されることが見込まれる。